

目 次

まえがき	倉地克次
第1部 研究の趣旨及び方法	1
第2部 研究の成果	
研究成果の総括	3
課題研究	
運動障害が著しく重度な子どもにおける「見ること」と	
「手を動かすこと」との関連について	松田直 13
「見る活動」と状況工作——事例研究——	土谷良巳 19
視覚障害を有する重複障害幼児の「見ること」に関する	
行動の拡がりについて	川住隆一 25
「見える」ことと「見分ける」ことに関する一考察	
——皮質性全盲児が二次元空間内における方位概念を獲得する経過について——	
	松木健一 31
タッチパネルを使用した手と目の活動を促す教材とその利用	
	松本廣・篠田論・飛山秀信 39
弱視児の見えにくさを考慮した読書環境の整備について	
	中野泰志・小田浩一・中野喜美子 45
視力を測れない子の視力測定	
	小田浩一・中野泰志・田中恵津子・松本廣 57
討 論	67
個別研究	
重度・重複障害児における人や物などに向かう能動性を高める指導の試み	
——「見る」動きに視点を当てて——	久保和則 77
見ることと表現すること —— 書字・描画に困難を示す児童の事例を通しての検討 ——	
	渡邊章 83
視覚認知に困難を示す子どもとの係わり合い —— 実態の把握と平仮名の学習を	
中心にして ——	
	大柴文枝 91
精神遅滞児の注意を促す指導の方法について	篠原吉徳 97
「視点を換えること」と見えること	木村幸子・竹田美栄子 103
あとがき	山下皓三